

「エネルギーの確保と供給」シンポジウム

名古屋大学における脱炭素を考える

脱炭素の必要性が国際社会の共通認識となり、日本政府も 2050 年を目標達成時期としています。実現に向けた国内外の取り組みも加速しています。名古屋大学は名古屋市内最大のエネルギー消費者としての社会的責任を果たす必要があります。と同時に技術的・社会的イノベーションを通じた具体策を社会に提案することも可能です。本シンポジウムではトッランナーとなるための課題と可能性について考えます。

日時：2021年12月24日（金）

13:00～14:30（シンポジウム） 14:45～16:15（ワークショップ）

開催方法：オンラインシンポジウムおよび対面ワークショップ

プログラム：

第一部：オンラインシンポジウム

- ・カーボン・ニュートラル推進室について
環境学研究科／東海国立大学機構カーボン・ニュートラル推進室長 西澤泰彦
- ・名古屋大学再生可能エネルギー100パーセントロードマップの策定について
環境学研究科 丸山康司
- ・名古屋大学におけるサステナブルキャンパスの取り組み
施設・環境計画推進室／環境学研究科 田中英紀
- ・コメント及び総合討論
環境学研究科 日比野高士
学生からのコメント

第二部：カーボンニュートラルポテンシャル調査 14:45～16:15

- ・調査のポイントの紹介
再エネ技術（屋根型・窓型・カーポート型の紹介）や発電量イメージ、学生も行える省エネのソフト対策の紹介
- ・構内を回ってのポテンシャル調査
- ・まとめ、ディスカッション

主催：名古屋大学 環境学研究科、東海国立大学機構カーボン・ニュートラル推進室

申し込み方法：下記リンクもしくはQRコードから申し込みフォームにアクセスし、必要事項を記入してください。折り返しアクセス用のリンクをお知らせします。

<https://forms.office.com/r/j9kysBd3r2>

